



# 全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 中村達也／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎ (03) 3263-0271  
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>



議長団の阪田氏(右)と佐藤氏(左)の両氏



## 全消協 第37回定期総会

# 団結権回復は目前で届かず 新たな活動を熱く論議

2013年8月25日、大阪国際会議場で全消協第37回定期総会が開催され、代議員227名、傍聴178名、合計405名の会員が参加した。総会では、新規加盟単協、2013年度活動経過、2013年度会計決算が報告されるとともに2014(2015年度)の活動方針(案)、2014年度予算(案)が提出され、承認を得た。最後に役員改選があり、迫会長以下8名が退任し、後任として門間前事務局長が新会長に選任され、新体制のスタートを切った。

会長あいさつに続き、地元消防から進んでいくこと、労使資本で市を代表し交野市消防職員協議会(民サービス)を充実していくこと等田英樹会長から大阪府や交野市のあいさつを頂いた。自治労本部澤田副執行委員長から紹介、大阪府内の消防本部数や協議会組織等の現状報告を行った。続いて、自治労大阪府本部高木臨時執行委員から、労働基本権獲得、団結権を獲得すべく邁進する意向を得めざし議論を交わし集いながらなどについて挨拶をいただいた。

### 長 抄 会 挨

## 斬新で効き目のある 政策行動の展開を

今年、宮古で研修会をしました。消防職員が震災復興のため何をしなければならぬのか、その中で継続すべきこと、想い巡ること、正義の愛をもってわれわれが進んでいくこと、我々がやり残したところ、あらゆる方のメッセージや、地域の、消防団も含め、様々な思いを気持ちよく感じつつ今日を迎えました。

公務員制度改革の中で、本来ならばここで皆さんと抱き合せて団結権回復後のこの先、どうしたら良いのかという議論をすべきところでありましたが、とても残念な結果となりました。全消協として、団結権のみが政策の課題ではありませんが、我々は一歩詰めたその流れの経過においてILOも一歩踏み込んだ支持をされました我々が実直に行動してきたことが実を結んでいます。

団結して一歩一歩誠意をもって進めば、必ずや獲得できる、そんな執念をもって活動していきたいと思っています。どうか、全消協は絶大の安心の発信をきっちりできる団体であり、若い世代を育成しつつ、労働運動の中に新しい風を取り入れ、爽やかな団体であってほしい、そんな風に思っています。全消協三十七年、これから同じ三十七年ではなくて新しい政策も含めて、斬新な効き目のある政策行動をしていく。それが全消協の役目だと思っています。



迫前会長

どうかこれから先も様々なことがありますが、一つひとつの議論を通して同胞正義ここにあり、それで頑張っていきたいと思います。

全消協 第37回定期総会

# 消防職場の権利回復へ向け邁進 新たな戦略と確実な一歩を

引き続き、自治労協力国会議員

あいはらくみこ参議院議員から、参議院選挙の協力についてのお礼と、消防職場の権利が度外視されている現状下、しっかりと第一の課題として対処し共に頑張っていく決意が述べられた。

合連合会、社会民主党又市征治参議院議員、全日本水道労働組合、保健医療福祉労働組合協議会、P-SI加盟組合日本協議会からの祝電メッセージが紹介された。

新規加盟単協紹介では、三重県志摩消防職員協議会、鹿児島県徳之島地区消防職員協議会、北海道知内消防研究会、佐賀県有田町消防職員協議会、三重県松阪地区広域消防組合消防職員協議会、鹿児島県大島地区消防行政研究会、それぞれの代表から挨拶があった。

高木自治労大阪府本部臨時執行委員



澤田自治労本部副委員長



## 一人ひとり誠意ある対話を

あいはらくみこ参議院議員

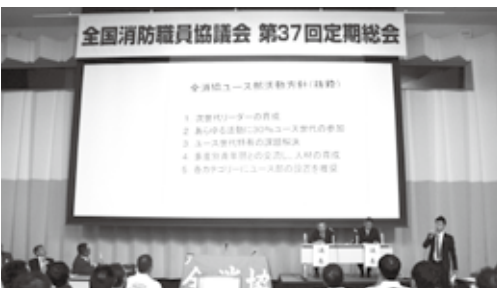


## 【活動経過報告】

引き続き、執行部からの報告議事として、2013年度活動経過報告、会計決算報告、会計監査報告が行われた。

質疑、討論では、「研究集会の開催場所変更に伴う旅費の超過について」（函館消協）の質問に、「開催場所は東北の復興支援として全消協で何ができるかを考えた結果である、現地の交通事情の悪さが旅費超過となってしまった、執行部の段取りが悪かったことをお詫びする」と答弁した。

「宮崎市消協・都城市消協の脱退届について」（延岡市消協）の質問に、「全消協会長のパワハラ的事实はなく、内容は個人的な部



ユース部からのアンケート報告も行われる

分が多いと判断した結果、全消協という組織での対応はしていない。しかし、放置せずブロック幹事を通して対応中である。脱会届は保留、会費収入は未収のため代議員資格は無いとした」と事務局が答弁、「同じような単協が出てきた場合には、納得するまで話をしたいだけだと思う。個人的な感情が出てきたときには、遺憾がないように対応していきたい」（松戸市消協）など、代議員から質疑討論が活発に行われた。

以上の質疑、討論をもつて活動経過報告、会計監査報告、会計決



算報告が順次承認された。

## PT・女性連絡会・ユース部の方向性を問う

【活動方針案 予算案】  
執行部より、2014～2015年度活動方針（案）、2014年度予算（案）の提案がされ、質疑・討論が行われた。

「ILO87条について、全消協は国へ立法不作を訴訟を起こさないのか。時間外手当訴訟、無賃金拘束時間の研究について、PT立ち上げ、継続について」（横浜市消協）には、「立法不作について、では、会員皆さんの声がブロック単位で集まれば訴訟を検討する。団結権回復のためにはILO・P-SIの外圧は必要であるし、PTの中でも全消協が政策提言できる

ような内容にして行く事が決定している。無賃金拘束時間についてもPTでたたき台を作り政策発信をどのように進めるかを議論していく。休憩時間についてはかなり大きな問題なので全消協が前に立つて進めることが筋だと思ってる。PTは継続してしっかりと進めていきたい」と答弁、また、「女性連絡会、ユース部の活動費について」（稚内消協）には「女性、ユース部の活動は活発になっていくと考えるが、限られた予算の範囲内での執行を組み立てている。財源は限られているので、協力を頂きたい」と回答した。また、「全消協ニュースの発行、ホームページの更新ペースを早めてほしい。新規単協は加盟後の不安もあると思われているので、現状を把握し助言をしていただきたい」（釧路東部消協）、「IT化での会議等を実施し、総会費を削減してはどうか」（横浜市消協）等の意見が出された。

以上の質疑討論の後、2014～2015年度活動方針（案）及び2014年度予算（案）について順次承認された。

最後に、門間新会長による団結がんばろう！で締め括り、本総会を閉会した。

# 2014年度 新役員体制でスタート



岩本展政



鈴木 泉



三上高鋭

事務局長



中村達也

副会長



近江孝之

会長



門間孝一



井戸章夫



水野圭介



小野 悟

事務局次長



村上直樹

副会長



渡辺和良



島 武志



川上修司



平野和彦

全消協第37回定期総会で選任され、1期2年間会長として協議会活動を任されることになりました。門間孝一です。全消協に結集する皆様はもとより、消防・救急という地域住民の生命・身体・財産を災害から守る職場に働く皆様へ、会長就任に際してのご挨拶を申し上げます。

とりわけ、東日本大震災で被災し、仲間を失った皆様には職を同じくする仲間として心よりお見舞い申し上げます。また、2年半が経過し、復興も遅々として進まない中、福島県では原発による放射線の終息も先が見えない中、頑張つて業務を遂行されている仲間の皆様には心より敬意を表します。

さて、私は、1979年9月に消防吏員としてこの職場に入り、34年が過ぎました。この間ずっと、交代制勤務職場いわゆる当直勤務だけをしてきました。

消防という職業を選んだのは、何か人のために役立つことができるのではないかと、いつか気持ちからでした。当時、消防の仕事は火を消すだけかと思いましたが、漫画で特別救助隊の物語があり、それを読みこのような仕事があるんだ、やってみようかなあというのがきっかけでした。辞令をもらい、被服を受け取り、消防署の迎いの車に乗って、配属の署に行き、説明を受け次の日から当直でした。まだ、望楼があり貴重な経験ができたことも思い出します。初任教育を終えて署に戻り、また半人前にもなっていないが、もう一人前という扱いで周りを見る余裕もなく一生懸命に仕事をし、仕事も慣れてきたころに当たり前だと思っていたことが全く違っていたことに気づき、「なぜなんだらう、どうしてなのか」というのがこの協議会活動に入つていったきっかけでした。

一人で法律を読んでみてもなんとなく漠然としか理解できず苦労しているときに、職場で、自分たちがされて嫌なこと、後輩と同じ思いをさせない、心を持つ先輩に出会い、さらにそこから職場以外の方たちと出会う、色々なことを聞き、学び、少しでも楽しく働きやすい職場にするためにさらに理解をしようという活動をしてきたように思います。よく、協議会活動ってなにか、やってみようかなあ、なにかよく聞かれますが、

## 会長就任挨拶

### 楽しい職場づくりは、一人ひとりの思いから

門間 孝一

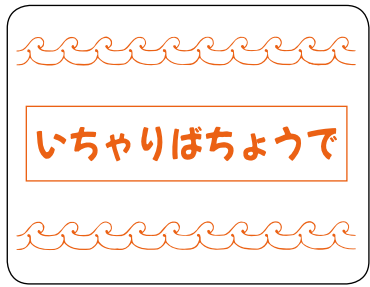
一人ではできないことを多くの人たちの力を集めて実現に向けた活動をする、同じ仕事をやる多くの仲間と出会え、お互いの良い点悪い点を気兼ねなく率直に話し合い、必要な情報を聞くことができるとだと思つていきます。働く人として尊厳のある働き方を自ら責任をもち誇りをもち作りあげていくそのための活動であると思つていきます。我慢して自分を殺して何も言えない、言わない、言わせない、そんな閉鎖的な職場を改善するのも協議会活動のためには必要です。

また、消防行政を担う、働く側の者として地域住民への行政サービスの向上をめざすために調査、研究を進めて国に提言できるような存在感のある組織づくりをしたいと考えています。

まだまだ改善すべき点は山積ですが、私自身も力不足ではあり一杯頑張つてまいりますので、会員皆様のご支援、ご協力を賜りますことをお願いして、就任のご挨拶と致します。

「楽しい職場づくりは、一人ひとりの思いから」

※「いちゃりばちょうで」とは、沖縄の言葉で「一度会ったらみな兄弟」という意味です。



**徳之島地区消防職員協議会**

**会員一同「一致団結」して  
頑張つていきます**

全消協の皆様初めまして、今年3月19日に発足いたしました徳之島地区消防職員協議会会長 政木孝一です。

徳之島は、徳之島町・伊仙町・

天城町の3町で構成されており、人口は約2万6千人で、長寿の島・子宝の島・闘牛の島として知られております。職員数は46名で、1署2分遣所で構成されております。私達は、協議会という組織を知りませんでした。勉強会等を通じて様々な話を聞くと、「あたりまえ」「これが普通」と思っていた事が、間違いだつた事に気づかされました。職員と話し合いをしたら半数以上の職員から「つくろう」「立ち上げよう」という声が上がリ、皆様の協力のおかげで結成する事ができました。本当に有難う御座いました。

会員一同「一致団結」して頑張つていきますので、これからも宜しくお願い致します。



**松阪地区広域消防組合消防職員協議会**

**私たちが仲間の向かうところは  
「最高の住民サービス」**

2013年6月15日に三重県で9番目の消防職員協議会として、皆さんの仲間入りを果たしました「松阪地区広域消防組合消防職員協議会」(以下、松消協)です。

4署5分署(職員275名)で



私たちは、三重県中部の1市2町(松阪市、多気町、明和町)総面積約770平方キロメートル、管轄人口約20万人を管轄区域として守っています。

私たちの職場は、封建的な組織運営が行われており、また労働者としての活動等ができていませんでした。

こういった状況の中で閉鎖的な職場環境に陥り、良い住民サービスができていないのではないかと考えるようになりました。そのような疑問をもちながら仕事をやっていく中、今年2月にある出合いから消防職員協議会を立ち上げることになりました。三重県消防職員協

議会、自治労働関係者の協力もあり、わずか数カ月後に会員155名で発足することができました。

このような短期間に過半数を超える職員の賛同を得ることができたことに当初は驚きもありましたが、おそらく多くの職員が「おかしい」と感じていたのだと思います。

私達は消防職員協議会という大きな手段を得ました。これからは職場環境や労働条件等の多くの問題について改善を提案していきたいと考えています。

生まれたての松消協ですが、私達仲間に向かうところは「最高の住民サービス」です。このことを成し得るために皆さんとともに活動していきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願ひします。

**第44回 労働講座を開催します!**

**2013年12月4日(木)13時~5日(金)17時**

**東京・主婦会館プラザエフ**

全消協ホームページも  
ご覧ください <http://zensyokyo.jp/>  
随時、最新ニュースを更新!